

平成30年度特別支援教育に関する実践研究充実事業
 (次期学習指導要領に向けた実践研究)
 成果報告書 (概要)

受託団体名
千葉県教育委員会

1 指定校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名 (ふりがなを付すこと)
千葉県	特別支援学校	知的障害・病弱	ちばけんりつきみつとくべつしえんがっこう 千葉県立君津特別支援学校

2. 事業の実績

(1) 事業の実施日程

実施時期	実施内容	評価事項
平成30年4月	○外部委員の決定 ○今年度の研究の方向性を校内研究推進委員会にて協議	・研究内容の妥当性
平成30年5月	○校内全体研究会の開催 ・今年度の研究の方向性, 方法, 内容 ・研究計画 ○第1回「教育課程研究協議会」の開催 ・今年度の研究の概要 ・年間計画 ・実践報告会の計画	・研究内容の妥当性 ・研究の進め方 ・報告会の内容, 進め方
平成30年6月～7月	○各学部授業実践 ・単元記録表, 評価表の作成	・各教科等を合わせた指導の授業づくり
平成30年8月	○全体研修会の実施 「各教科等を合わせた指導について」 講師：筑波大学附属大塚特別支援学校 中村 晋 先生 「各教科等を合わせた指導の評価について」 講師：関西学院大学 眞城 知己 教授	・各教科等を合わせた指導の授業づくり ・授業の評価方法, 内容
平成30年9月	○第2回「教育課程研究協議会」の開催 ・単元記録表, 評価表の形式と内容の検討 ・授業づくりについての検討 ○授業研究会・研究協議会 ・中学部「作業学習」 ・高等部「作業学習」	・各教科等を合わせた指導の授業づくり ・授業の評価, 内容
平成30年10月	○第3回「教育課程研究協議会」の開催 ・単元記録表, 評価表の形式と内容の検討 ・授業づくりについての検討 ○授業研究会・研究協議会 ・小学部「生活単元学習」 ・重複学級「日常生活の指導」	・各教科等を合わせた指導の授業づくり ・授業の評価, 内容

平成30年11月	○今年度の研究のまとめ ○実践報告会の準備	・研究の成果と課題
平成30年12月	○実践研究報告会への対応 ・研究報告（実践、成果と課題） ・研究討論	・研究の成果と課題
平成31年1月～3月	○県主催 平成30年度 実践研究報告会 ○次年度の研究計画の作成	・次年度の方向性 ・次年度の計画

(2) 研究課題

【知的障害のある児童生徒の質の高い学びを実現するために必要な学習指導と評価の在り方】
各教科等を合わせた指導について、各教科の内容や評価の観点の明確化を図り、効果的な指導方法について研究する。

(3) 研究の概要

【単元記録表の作成】

各教科等を合わせた指導について、年間の目標や単元目標を新学習指導要領の3つの観点でたて、実践を記録することにより学習活動と各教科等の目標・内容等の関連を明らかにする。

【評価表の作成】

各教科等を合わせた指導について、指導の評価内容と評価方法の見直しを図り、一人一人の児童生徒につけたい力を意識した評価の観点を明らかにする。

(4) 研究の成果

【単元記録表の作成】

関連する各教科等を書き出したことで、目標や活動内容の見直しができ、単元や授業において目指すことの共通理解が進むと共に、各教科等の関連を意識した授業づくりにつながった。

【評価表の作成】

児童生徒のつけたい力や目指す姿を具体的に描くことができ、共通の視点をもって評価をすることができるようになった。これは、授業において児童生徒への関わり方や手立ての工夫につながり、児童生徒の自発的な行動や発言を引き出した。

(5) 課題と今後の方策

【単元記録表】

学部間の系統性を意識すると共に、授業をとおしてつけたい力を明確にし、関連する各教科の内容等の精選を図っていく。

【評価表】

各学部で活用しながら、評価内容と評価方法の見直し改善を図る。